

平成30年9月定例総社市議会 一般質問通告者一覧表

発言 順位	議席 番号	氏 名	大 項 目	中項目・質問要旨	答弁者
1	11	小 西 義 巳	1 西日本豪雨による水害について	(1) 避難勧告, 避難指示の名称の在り方はどうか。避難命令は出せないのか。 (2) 高梁川水系のダムの放流で, 河本ダムの放流報道(NHK)があったが, 他のダムの放流は, なぜ報道されていないのか。 (3) 高梁川河川敷の雑木は, 増水に対して影響はどうか。また, 天井川化しているため, 雑木処理及び浚渫工事等, 国交省への要望はどのようにするのか。国や県に対し, 告訴等の考えはあるのか。	市長 市長 市長
2	15	村 木 理 英	1 ダムの緊急放流(異常洪水時防災操作)について	(1) 緊急放流の市民に対する周知はどうか。 ① 高梁川水系はどうか。 ② 成羽川水系はどうか。	市長
3	21	山 口 久 子	1 大水害について 2 避難所の安全について	(1) ダム管理の責任はどこか。 (2) 高梁川流域の住民は, 想定外の雨量に加えダムの放流による高梁川の増水が, より多くの被害につながったと考えている。今後のダムの放流に係のある(国, 県, 国土交通省)にしっかりと訴えていかなければならないと考えるがどうか。 (1) 豪雨によって国道180号の通行が寸断され, その地域内に留まるしかない状況の中, 1カ所の集会所だけが安全であった。その集会所に地域住民が入りきれない状況にあった。どのように考えるのか。 (2) 水害, 山崩れなどに対し, 安全な避難所を確保すべきではないか。	市長 市長 市長 市長
4	4	仲 達 幸 弘	1 平成30年7月豪雨災害の起きた原因について	(1) ダムの放流について ① 高梁川上流のダムについて, 管理者の内訳及び各ダムの放流量は最大幾らだったのか。 ② ダムの放流調整, ダムに関する法律の改善を管理者(県や中国電力な	市長

			2 災害時の対応について	<p>ど) へ要望の必要があると思うがどうか。</p> <p>(2) 河川の管理について</p> <p>① 堤防の強化や中洲にある立木伐採, 土砂, 砂利の浚渫など管理者(国や県) へ要望の必要があると思うがどうか。</p> <p>② 本市施工で河川敷に芝を植えているが, 大水の度に芝が流れている。再考はできないか。</p> <p>(1) 災害時の連絡体制について, さらなる強化, 確立の必要があると思われるがどうか。</p> <p>(2) 避難所について</p> <p>① 避難所の見直しが必要と思うがどうか。</p> <p>② 公共施設だけでなく, 民間施設等の協力を得ることも必要であると思うがどうか。</p> <p>(3) 職員の健康管理について, 職員は日常業務に加えて非常時への対応で疲弊している。改めて職員の健康第一で適切な休息が必要と考えるがどうか。</p>	市長 市長 市長 市長
5	7	岡崎 亨一	1 平成30年7月西日本豪雨災害対応について	<p>(1) 広域一時滞在について</p> <p>① 市内に避難している真備町住民への倉敷市の対応はどうだったのか。</p> <p>② 災害対策基本法にある広域一時滞在について, 広域一時滞在の協議元と協議先で広域一時滞在の必要がなくなった場合の要件を決めておく必要があると思うがどうか。</p> <p>(2) 支援物資の供給について</p> <p>① 現在のフリーマーケット方式の供給方法をどう評価するか。</p> <p>② 被災者の確認をし, 世帯人数も把握しての支援物資供給が必要と考えるがどうか。</p>	市長 市長
6	10	高谷 幸男	1 災害対策について	<p>(1) 国・県等への要望について</p> <p>① 1級河川高梁川外河川内の樹木の伐採や土砂採取による河床の切下げにより正当な水流確保は要望できないか。</p>	市長

				<p>② 1級河川高梁川外河川内の無堤防地区への築堤を強力に要望はできないか。</p> <p>③ 各種ダムの放流について、ダム管理者や関係者との協議の場が必要と思うがどうか。</p> <p>④ 常盤地区において、道路の陥没が見られた。高梁川からの浸水によるものと思われるが、対策は何か考えられないか。</p> <p>(2) 避難準備、避難勧告、避難指示と市民に避難行動を求める情報を発しているが、これ以外に何か考えられないか。</p> <p>(3) 避難場所の見直し、再検討をする考えはないか。</p> <p>(4) ハザードマップの見直し作成は検討中と思われるが、再検討し市民への配付は考えられないか。</p> <p>(5) 緊急告知FMラジオ「こくっち」を希望する市民への有償配付などの斡旋はできないか。</p> <p>(6) 市内被災地域での人口減少も考えられるが、食い止める手段はないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
7	16	頓 宮 美 津 子	1 7月豪雨災害について	<p>(1) 市の災害対応について、次につなげるべき反省点は何か。</p> <p>(2) 今回市内の河川で、ぎりぎりのところで危険を免れた所があったと思う。例えば、新本川が氾濫寸前だったと聞く。早急な対応が必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 庁舎建て替えについて、今回の災害対応で、庁舎の機能の重要性を再認識した。そこで、救援物資の対応や、会議などのスペースなど対応に苦慮した点は多くあったと思う。次の災害に備えて、先延ばしにするのではなく、建て替えは急ぐべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 教育委員会の対応について、今後大きな災害に備えて、教職員の支援チーム体制を作っておくべきと考えるがどうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p>
8	2	溝 手 宣 良	1 豪雨災害について	<p>(1) 総社市の地域防災計画について</p> <p>① 発災前の準備は十分であったか。</p>	<p>市長・消防長</p>

				<p>② 被災自治体になってみて感じたことは何か。</p> <p>③ 今回の教訓を活かし、地域防災計画の見直しなど、今後の見通しはどうか。</p> <p>(2) 周辺自治体との連携・関係について</p> <p>① 周辺自治体との連携・関係はどうだったか。</p> <p>② 避難所の運営は、どのように連携をとったのか。</p> <p>③ 災害ゴミの処理はどのように行うのか。また通常ゴミはどうか。</p> <p>④ 今後の見通しはどうか。</p>	市長・消防長
9	5	萱野哲也	1 市長の市政運営について	<p>(1) 西日本豪雨災害での影響について及び来年度、またそれ以降の予算編成について</p> <p>① ビッグファイブである総社小学校建て替え、給食調理場、認定こども園の現在進行中の工事の影響はどうか。</p> <p>② 庁舎建て替えと美術博物館建設についての影響はどうか。</p> <p>③ 地域再生力予算についての影響はどうか。</p> <p>④ 来年度、またそれ以降の予算編成について、災害対策で優先順位が変わるものや、新たに取り組むべき事業が出てきたと思うがどうか。</p> <p>(2) 西日本豪雨災害の検証及び今後の対応について</p> <p>① 高梁川下流に位置する本市としての思いはどうか。</p> <p>② 強制排水ポンプなどの点検や管理はどうか。</p> <p>③ 国や県へ要望はどうなっているのか。対応見通しはどうか。</p> <p>④ 小田川や末政川の決壊の調査及び結果について、今後本市はどう関わっていくのか。</p> <p>⑤ 復興対策本部はいつまで設置するのか。また復興の専門部署を設けることはしないのか。</p> <p>(3) 災害対応において倉敷市との連携について</p> <p>① これまでの連携はどうだったか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

				② 今後どう連携していくのか。	
--	--	--	--	-----------------	--